



ISSN 0915-8782

## CONTENTS

KULiC-α と「ほん和かふえ。」	1
「トップに聞く“記憶に残る1冊”」	4
附属図書館の基本理念と目標	7
KURAの著作別利用統計をお知らせします	8
シンポジウム DRF-KanNihonkai	9
医学系分館増改築マスタープランの検討状況	10
トピックス	12

金沢大学附属図書館報 “こだま”

<http://www.lib.kanazawa-u.ac.jp>

# KULiC-α とほん和かふえ。が |オ|ー|プ|ン|

中央図書館ラーニング・commons「KULiC-α」がオープンしました。  
ブックラウンジ内の「ほん和かふえ。」も同時に開店です。  
KULiC-α (Kanazawa University Library Commons)のコンセプト等については、  
前号こだまでご紹介しましたので、  
今回は、完成したそれぞれのスペースをご紹介します。

## 1 ほん和かふえ。

「ほん和かふえ。」この名称は、学内公募した150作品の中から選ばれました。「本」と「ほんわか」と「和」をかけてリラックスできる空間になるようにとの思いをこめています。

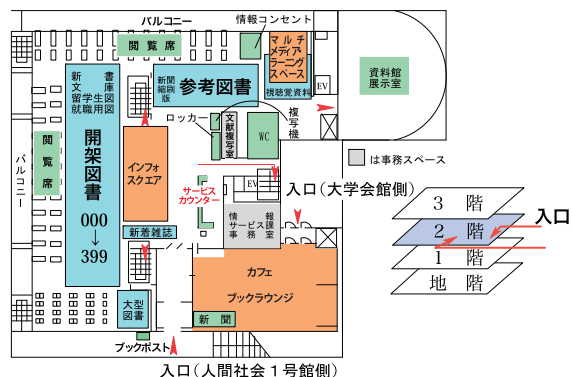


### ■営業時間

平日9時30分～19時  
(土曜日・日曜日・祝日、学期休み、  
図書館の閉館日は閉店)

### ■メニュー

本日のコーヒー  
各種カフェ・ラテ  
キャラメルマキアート  
紅茶等ドリンクのほか  
各種ケーキ  
ほん和かサンドなど。



## 2 ブックラウンジ

軽い飲食ができて、友達との会話も楽しめるコミュニケーションスペース。

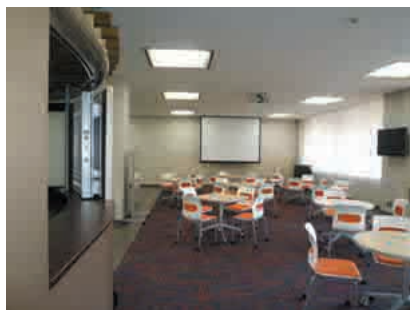
カフェの雰囲気を楽しみながら、リラックスして知的な空間に身をゆだねる。イメージ豊かに新鮮な発想が生まれるかも。



イベントスペース



ゆったりと新聞を読む



テーブルと椅子は移動可能

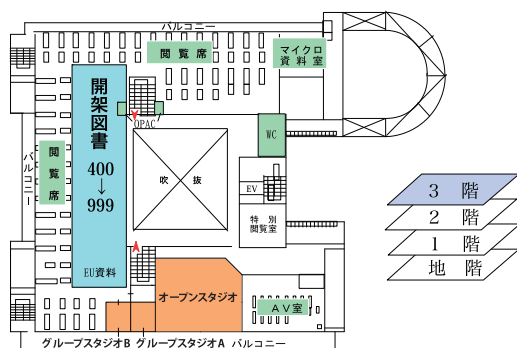
## 3 コラボスタジオ

図書館蔵書とPCを活用して、グループで学習できるスペース。「オープン」、「フリー」、「見える」空間で積極的に学び合う。

### オープンスタジオ

オープンで自由に使える空間。ホワイトボードやプロジェクターも使ってどんどんアイデアも湧いてくる？テーブルも自由に組み替えて、自分たちに合ったスタイルで学習できます。(予約なしで利用できます。)





### グループスタジオ

8人用と6人用の部屋を用意。隣を気にせず密な議論が行えます。テーブルは組み方も自由なので自分たちに合った形態に並び替えて使ってください。(利用には予約が必要です。)



## 4 インフォスクエア

図書館の各種情報へのアクセスポイント。蔵書検索(OPAC)で図書を探したり、データベースで新聞記事を探したり。それ以外にも新刊図書や新着雑誌、北陸銀行文庫など情報アクセス、ブラウジングの空間。



検索デスク



ブラウジングスペース

(情報部情報サービス課)



本学出身者の各界名士による

トップに聞く

“記憶に残る1冊”

中央図書館にて  
展示中 ~4/30

※出版年等は、図書館で所蔵している本の情報を記載しました。

## 『蒼き狼』 井上 靖／著

井上靖全集第12巻 新潮社, 1996年

高校3年秋に先生から薦められた、<sup>チンギス・ハン</sup>成吉思汗の生涯を描いた歴史小説です。キカン子の私に生き方を勉強せ！との気持ちで薦められたのだと思います。先生の意図された方向とは異なりますが、その一冊から私の夢は広がりました。巻末に紹介されていた『敦煌』を読み、どうしても敦煌に行きたい夢を持ったのです。その夢が大学卒業後の生き方に大きな影響を及ぼしたように思います。さらに、その一冊は井上靖の世界に自分を導き、様々な夢を与えてくれました。金沢大学の「サンタ・クローチェ教会」の壁画修復もその延長線上にあるようです。



中村 信一

NAKAMURA, Shinichi

金沢大学長

[金沢大学大学院医学研究科 昭和48年5月修了]

## 『沈黙』 遠藤 周作／著

新潮社, 1966年

江戸時代の初期、キリスト教弾圧下で苦悩する神父フェレイラと心弱き信者キチジローの踏絵と拷問を前にして棄教していく心の葛藤が描かれている。転びバテレンと非難されるが、全ての人の心に内在する弱さ、悲しさ、醜さ、そして絶望と耐えがたい孤独感がよく描かれている。特にキチジローが、転ぶ時に叫んだ「俺は生まれつき弱か。心の弱か者には殉教さえできぬ。ああ、なぜ、こげん世の中に俺は生まれあわせたのか」と、この本に出会ったのは、昭和43年末の金沢大学でも学生運動が盛んになりつつある時代、私の4年生の時でした。



田中 隆治

TANAKA, Takaharu

(財)サントリー生物有機科学研究所副理事長・金沢大学理事

[金沢大学理学部 昭和44年3月卒]

## 『蒼穹の昴』 浅田 次郎／著

講談社, 1996年

浅田次郎は様々な分野の小説を上梓していますが、そのどれも一気に読ませてしまう魅力あふれるものばかりです。中でも『蒼穹の昴』は長編大作で、清朝末期の梁文秀と李春雲の二人の主人公を中心に物語が進行して行きます。日中共同制作でTVドラマ化され、西太后役に田中裕子が起用されています。他の出演者は中国人は中国人、日本人は日本人が演じています。NHKでも25回に分けて、放映されています。お薦めの一冊です。

この『蒼穹の昴』の続編として『中原の虹』も上梓されこれもお薦めです。

## 『豊饒の海』 三島 由紀夫／著

四部作(第1巻 春の雪, 第2巻 奔馬, 第3巻 暁の寺, 第4巻 天人五衰)  
新潮社, 1969年－1971年

昭和45年秋、城内キャンパスも学生運動が激しく、法文の校舎も過激派に占拠された。ノンポリ学生だった私は、唯ひたすら本を読んだ。ドストエフスキー等のロシア文学、安部公房、大江健三郎等々ジャンルは問わない。

11月25日、三島由紀夫の『豊饒の海』四部作の『奔馬』を読んでいると、テレビから「三島」「市谷駐屯地」「割腹自殺」という言葉が飛び込んできた。三島は戦後の高度成長期の日本が「心からモノ」へと突き進んでいく中で、「日本人の魂」で抵抗した最後の一人であったような気がする。

私にとっても、混沌とした青春時代の大切な思い出である。



鈴木 康夫

SUZUKI, Yasuo

(株)小松製作所取締役・専務執行役員

[金沢大学工学部 昭和45年3月卒]



安宅 健樹

ATAKA, Tateki

(株)北國銀行代表取締役頭取

[金沢大学法文学部 昭和48年3月卒]

## 『青春の門』 五木 寛之／著

講談社, 1972年

金沢の下宿で、雪が降りしきる静けさの中、炬燵に入って好きなだけ読書をしていた頃を懐かしく思い出します。あんなに純粋に、多くの本を楽しんだ時期は、その後、ありません。

特に印象に残っているのが、本書です。

筑豊篇、自立篇、放浪篇・・・と文庫本になるのを待ちかねて書店で買って、何度、繰り返し読んだことでしょう。

主人公・伊吹信介や恋人の織江が、様々な苦難を経て大人になっていく日々の、初めて「大河小説」を読む喜びを知りました。

信介は、貧しい幼年時代を健気に成長して東京の大学に合格しますが、その後は売血や放浪で、生きていくことに精一杯の生活を送ります。しかし、そんな中でも、信介がどこか明るく素直な雰囲気を持続けるからこそ、読み継いで行けたのだと感じています。



唐木 幸子

KARAKI, Sachiko

オリンパス(株)研究開発本部  
研究開発センター基礎技術部部長  
[金沢大学薬学部 昭和53年3月卒]

## 『正法眼蔵』 道元／著, 増谷文雄／訳

全8巻 角川書店, 1973年-1975年

「塔中に靈山あり。靈山に宝塔あり。宝塔は虚空に宝塔し、虚空は宝塔を虚空す。」道元禅師が示されたことば。

それまでの権威が音をたてて崩れ、新しい声も喧噪のなかで、頼るものもなく、なにかしら儚く移ろいで行く日々を、茫洋として送っていた、17歳、18歳。

恩師や友人が力強く叫ぶ正義や信念も、当時の私には不実を感じられた。書物を読みふけり、確かな何かを求めようとする、青春のある日、この一文に出会った。

それぞれは儚くとも互いに関係しつつ存在する。ここに妙がある。覚悟ともいえ、助けられたともいえる。

わたしがわたしであるように。あなたがあなたであるように。

学生諸君、大いに迷いたまえ。



小森 貴

KOMORI, Takashi

石川県医師会会長  
小森耳鼻咽喉科医院長  
[金沢大学医学部 昭和54年3月卒]

このたび、附属図書館の基本理念と目標を策定しました！

# 金沢大学附属図書館 基本理念と目標

平成21年12月8日  
図書館委員会承認

金沢大学附属図書館は、かつて加賀金沢を「天下の書府」と言わしめたこの地の学問に対する深い情熱と、流行におもねることなく伝統美を斬新な意匠で織り上げてきた繊細な感性とを己のものとして受け継ぎ、本学の学術情報の揺るぎなき礎となって、すべての利用者にきめ細やかな支援を提供することを目指します。

すなわち、金沢大学附属図書館の使命は、金沢大学憲章に謳われた「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」という本学の理念を支え、「卓越した知の創造」と学生の「自学自習」を促進するために、学術情報資源の収集、整理、保存、発信に力を注ぐとともに、一冊の本、一人の利用者たりともおろそかにしない万全のサービスを具体化することに他なりません。

そのため、金沢大学附属図書館は、以下の目標の実現を目指します。

## 利用者志向のサービス

中央図書館、自然科学系図書館、医学系分館のそれぞれの特性を生かした3館体制機能を生かし、常に学生、教職員及び地域市民のニーズの把握に努め、それに応える先進的で上質な利用者サービスを提供します。

## 学術情報基盤の整備

先端的情報通信技術を活用し、教育・研究を支える先進的な学術情報基盤を整備し、図書やデジタル資料等多様な学術情報資源の効率的な収集及び管理等に努めるとともに、最善のアクセス手段を提供します。

## 学生支援

学生の自学自習と自由な研究ならびに社会人としての自立を支えるために、学習・研究用図書及びキャリア教育や就職活動を支援する資料の充実を図り、快適な学習環境の整備に努めます。

## 知の拠点

東アジアにおける知の拠点として、金沢大学の知的研究成果を「金沢大学学術情報リポジトリ (KURA)」により蓄積し、国内外に発信します。

## 知のクロスロード

金沢大学が前身校及び本学ゆかりの先人たちから受け継いだ資産を守り、時間、空間を超えた知のクロスロード(交差点)として、知的資産の安定した提供及び保存管理体制を整備します。

## 知の多様性

地域社会や国際社会との多様な知の交流を促すため、地域社会との連携を積極的に進めるとともに、異なる文化的背景を持つ留学生・研究者へのサービスを充実します。

## 図書館職員の志

金沢大学附属図書館の基本理念と目標を実現するため、図書館職員は常に資質の向上に努めつつ、設備や施設の整備・充実を図ります。

# KURAの著作別利用統計をお知らせします！

附属図書館では、「金沢大学学術情報リポジトリKURA」に登録された著作の利用統計を、著者ご本人にメールでお知らせするサービスを始めます。

## お知らせ要領は以下のとおりです。

- 月始めに「お知らせメール」を自動送信します。
- お知らせする内容は、前月分の登録著作別のアクセス先別ダウンロード件数一覧です。  
どこから利用されたかが分かります。
- さらに、リンク先を参照することで、過去のデータや、国別のアクセス数を見ることもできます。
- 配信先メールアドレスは、著作ごとに1名で、筆頭著者→末尾著者→先頭に最も近い方の順に設定します。
- 連絡先の変更をしたい方、不要という方は、下記の連絡先までご連絡ください。

## こんなお知らせが届きます

### 《総合利用ランキング ○年○月》

<http://dspace.lib.kanazawa-u.ac.jp/dspace/es?~>

KURA全体のランキングトップ50へのリンク

### 《コンテンツ別閲覧回数》

【論文タイトル】看護研究概論 文献検索法(1)

【URL】<http://hdl.handle.net/2297/17825>

著作のタイトルと統計ページへのリンク

### 【DLドメイン(回数)】

- ・HINET-IP.hinet.net(1)
- ・bbtec.net(2)
- ・gifu.nt.ftth.ppp.infoweb.ne.jp(1)
- ・rev.home.ne.jp(1)
- ・search.msn.com(2)
- ・unknown(5)
- ・us.cattmics.ne.jp(1)
- ・wf.dion.ne.jp(1)

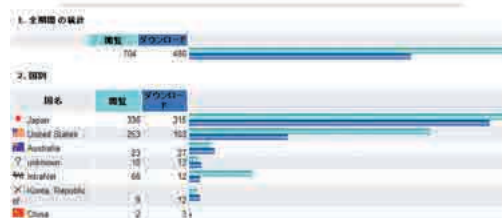
前月分の著作のダウンロード先ドメイン名と件数を表示

～(以下、KURAに登録された著作の数だけ繰り返し)

### 統計ページ

アイテム「看護研究概論 文献検索法(1)」に関する統計

期間: 【任意】 【任意】 【任意】 【任意】



過去の全期間のダウンロード数(国別・ドメイン別)などを表示

### 連絡先

附属図書館 情報企画課 情報企画係

TEL : 264-5204

mail: inkikaku@adm.kanazawa-u.ac.jp

## シンポジウム

# 「大学図書館のミッションと機関リポジトリ」を ～ 環日本海域からの情報発信 ～ 開催しました



平成22年2月17日(水)～18日(木)にかけて、金沢大学創基150年記念「講演・シンポジウム」シリーズ(特別回)／平成21年度金沢大学附属図書館シンポジウム／DRF-KanNihonkai「大学図書館のミッションと機関リポジトリ ～環日本海域からの情報発信～」と題したシンポジウムを、自然科学系図書館AVホールで開催しました。大雪であったにもかかわらず、延べ71名の参加者がありました。図書館サービスの一環として拡大しつつある機関リポジトリを利用することで、場所にとらわれない情報発信ができていく時代になっています。このテーマに関連した3つの講演と9つの事例報告がありました。

1日目の3つの講演内容を簡単に紹介します。

「研究者の情報入手に関する行動を分析すると、学術環境の変化に伴い変化している。図書館の役割も変化していくはず」(三重大学・小山憲司氏)／「機関

リポジトリのコンテンツ・ダウンロード数を調査すると、利用されやすいデータとされにくいデータが分かってきた。今後の活動に反映させていかないと、せっかく登録しても利用されない」(筑波大学・佐藤翔氏)／「学術情報は文献だけではない。公開されず埋もれている有用な非文献の学術情報もリポジトリで公開していきたい。」(金沢大学・高田良宏氏)

この後、活発なディスカッションが行なわれました。2日目には、環日本海地域の各大学の機関リポジトリ活動の事例報告がありました。当日発表されたスライドは以下のページで公開されていますので、ご覧ください。

DRFWiki:

<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?DRF-KanNihonkai>

(情報企画係・守本 瞬)





# 医学系分館 増改築マスタープランの 検討状況について

昨年度実施した附属図書館自己点検評価の中で、医学系分館の老朽化への対応が緊急の課題として指摘されました。これを受け、今年度、医学系分館将来構想検討ワーキンググループ(以下WG)を図書館委員会の下に設置し、医学系分館に求められる機能やサービスについて検討を行ってきました。ここでは、その検討状況と今年度の整備内容について報告します。

## 1 医学系分館の増改築のマスタープラン

医学系分館の増改築計画についての平成22年度概算要求は、残念ながら認められませんでした。WGでは、より良い図書館を実現するための計画を引き続き検討し、次年度も要求予定です。

WGでは、柴田附属図書館長を座長とし、学生委員を含む10名で検討を行ってきました。マスタープランとなるWG報告書は、新年度当初に完成予定です。以下、増改築計画のコンセプトと強化すべきポイントを中間報告としてお知らせします。

## ■強化ポイント

1. **学習支援** 開架図書コーナー／留学生用図書／自習スペース(個席・グループ席)／開館日・時間の延長／検索能力・表現能力の向上に役立つ情報リテラシー教育／ラーニング・コモンズ／アメニティ・スペース
2. **研究・診療支援** 学術雑誌等の保存スペース／本学固有の貴重資料の保存・展示スペース／診療活動に役立つ情報提供／研究者・診療スタッフを対象としたE J・D Bの利用説明会
3. **地域貢献** 附属病院図書室(附属病院で計画中)と連携した一般市民への情報提供サービス／地元の医療関連団体等の連携

## 医学系分館の増改築

— 次世代ハイブリッド医学図書館を目指して —

- 老朽化が激しく、耐震も不安(築40年経過)
- 収蔵能力の限界を突破(収蔵比率117%)
- 先端的医学情報基盤の整備

増改築

「機能的」で「快適」な利用環境と先端的医学情報基盤を備えた次世代ハイブリッド医学図書館の実現

### 【1】知的生産性を向上させる機能的で快適な学習支援の「場」

- ラーニングコモンズ
- 情報リテラシー教育の実現
- 個席・グループ学習スペース
- アメニティ・スペース

学習支援

### 【2】研究・診療活動を活性化し、知を継承する医学情報の収集・発信・保存の「場」

- 電子ジャーナル
- データベース
- 学術雑誌
- 貴重書

研究・診療支援

地域貢献

### 【3】地域のための医療情報の収集・発信・啓蒙の「場」

- 市民や患者のための医学情報提供
- 附属図書館内図書室との連携

次世代ハイブリッド医学図書館  
～印刷物からデジタルまで～

図書館の機能とデザイン

### 【4】サービスの基盤となる環境や安全・安心に配慮した設計・デザイン

- 環境への配慮
- 安心・安全設計
- キャンパスマスタープランとの整合

## 2 今年度の整備内容

今年度、計画の策定と並行し、「当面の改善」として、次のような整備を行いました。その概要をご紹介します。いずれも増改築が実現した後も継続して利用可能なものです。

### 2階 情報ラウンジ

- 学生インターネット検索用パソコンを2台追加(合計12台)
- 机を更新し、次年度以降さらにパソコンを追加できるようレイアウトを変更



新情報ラウンジ

### 1階 入口,カウンター付近

- 図書無断持出禁止装置を更新, 入退館ゲートを新設
- 閲覧カウンター横の電子ジャーナル検索用パソコンをWindows7のものに更新・追加(合計4台)
- カウンター付近の机・椅子を更新, パンフレットスタンド類を購入し, カウンターまわりの外観を改善



新入退館システム・ゲート

### 閲覧室

- 学生のニーズに答え, 閲覧机・椅子(16席)を個席タイプに変更(前年度からの継続)
- 雑誌書架を一部撤去し, 閲覧室の見通しを改善



右列が新しい閲覧机

### 資料の整備

- 国家試験対策コーナーを設置するなど, 従来以上に学生のニーズに応える資料の整備を実施
- 国内雑誌電子ジャーナルを多数収録したメディカル・オンラインを導入
- 留学生からのニーズに対応し, 医学基本書の電子ブック4タイトルを試行的に導入



国試コーナー

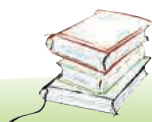
### Webサイトの充実

- 本学における医学情報検索のポータルを目指し, レイアウト・コンテンツを一新
- 分館の活動を外部に見えるように最新情報をブログで提供すると同時に宝町の教職員へのメールニュースの送信を開始



医学系分館のWebサイト

(医学系分館係・橋 洋平)



## 図書館

## トピックス

## 図書館利用券のICカード化

職員証及び学生証のICカード化に伴い、平成22年4月5日(月)から、ICカードが「図書館利用券」として利用できます。

## ◎ICカード交付対象の方

旧学生証・オレンジ色の「図書館利用券」は平成22年4月5日から使用できません。

※不要になった旧カードは、図書館に返却するか、細かく切って廃棄願います。

## ◎ICカード交付対象でない方

図書館が交付するオレンジ色の「図書館利用券」を引き続きご利用ください。



なお、ICカード化にも対応するため、IC・磁気カード併用の自動貸出返却装置を新しく全館に導入しました。

中央図書館の書庫とトイレの照明が  
人感センサーになりました！

平成22年2月、書庫(電動書架内を除く)とトイレの照明をHf蛍光灯に改修し、さらに人感センサーを設置しました。また3月には、トイレの洗面台の蛇口を自動水洗にしました。

これらの改善により、省エネ対策の推進が図られ、しかも便利になりました。

## 「Science」が創刊号から利用可能に！

平成22年4月、電子ジャーナル「Science」のバックファイルを購入したことにより創刊号(1880年)から最新号まで利用できるようになりました。どうぞご利用ください。

「Nature」関連の購読電子ジャーナルが  
増えました！

平成22年1月から、要望の高かったNature関連雑誌の電子ジャーナルの購読を開始しました。既に購読中のタイトルと合わせて36タイトルになりました。どうぞご利用ください。

## 活動記録 (2010.1-2010.3)

## ☆シンポジウム

金沢大学創基150年記念

「講演会・シンポジウムシリーズ(特別回)」

平成21年金沢大学附属図書館シンポジウム

DRF-KanNihonkai

「大学図書館のミッションと機関リポジトリ

～環日本海からの情報発信～」(2月17日～18日)

## ★会議等

・図書館委員会開催(第4回 3月9日)

・学生用図書選定部会開催

(中央図書館: 第3回 1月26日)

(自然科学系図書館: 第3回 1月22日)

・学術情報基盤整備WG開催(第3回 1月13日)

・医学系分館将来構想検討WG開催(第3回 2月24日)

## 金沢大学附属図書館報「こだま」第171号

平成22年4月1日発行

発行: 金沢大学附属図書館 編集: 広報委員会 印刷: 株式会社 橋本確文堂

〒920-1192 金沢市角間町 TEL: 076-264-5200 E-mail: etsuran@adm.kanazawa-u.ac.jp